西日本OBサッカー連盟

創立50周年

記念事業

【50周年記念大会】

2024年7月6日(土)7日(日)

静岡県小笠山総合運動公園(ECOPA)

主催:全国O-80・O-75・O-70シニアサッカーフェスティバル実行委員会
主管:西日本OBサッカー連盟 中部地域 浜松怪童クラブ
後援:一般社団法人 静岡県サッカー協会
後援:一般社団法人 静岡県サッカー協会シニア委員会

・挨拶　鈴木南海雄会長

・大会実施要領

・大会参加チーム一覧表

・2024年度連盟加入者

・大会試合結課表

・50周年のお祝い寄稿文をいただきました。
ご紹介いたします。

西日本ＯＢサッカー連盟創立５０周年を祝う

西日本OBサッカー連盟会長
鈴木南海雄

戦後日本のサッカーは、後進圏であるアジアでも相手にされない状態でしたが、日本のサッカーが1964年の東京オリンピックの強化を目的に西ドイツから1960年に、のちの『日本サッカーの父』と呼ばれるデッドマールクラマー氏をコーチとして招いたのがきっかけで彼のすばらしい力で日本のサッカーが息を吹き返すことになりました。

1969年に第１回FIFAコーチングスクールを開催し全国から多くの指導者が参加し、そこで学んだコーチが次ぎのコーチを育て日本中の少年団が活発に活躍することになり、それに呼応するように負けじと“昔とった杵づか”ならぬオールドOBのシニアの活躍が広まった。ちょうどその頃1974年神戸に集まった11チーム350名で西日本OBサッカー連盟が立ち上がり、ここ日本で初のシニアサッカーの連盟組織が生れました。もちろんその時には日本サッカー協会はシニアまでは手が廻らずなんと第１回JFA全国シニアO-60大会が開催されたのは2000年（平成12年）になってからです。

前年の1973年には名古屋500クロウズ、翌年の1975年には浜松怪童クラブといった具合に次から次へとシニアサッカーチームが生まれ西日本OBサッカー連盟は今では52チーム、約2,000人の文字通り日本一のシニアサッカー連盟になっております。

その活動の原点は『生涯現役』『親睦第一』『勝敗第二』で疲れたら退場、快復したら出場というルールにも工夫パンツの色も60代で赤、70代で銀、80代で金、そして85で紫とお互いリスペクトと連帯感がもてるべく西日本OBサッカー連盟独自のルールがつくられています。

今日の日本サッカーの繁栄の基礎をつくってきたという自負とほこりを75歳になっても80歳になっても持ち続け、まだまだ若いものには負けられないというクラマーコーチが日本選手にほめたたえた『大和魂』を心にひめ、皆様と一緒に楽しいサッカー人生を送りたいと思います。

以　上

生涯現役　親睦第一　勝敗第二

3つの合言葉の西日本OBサッカー連盟は創立50周年を迎えます

西日本OBサッカー連盟創立50周年記念大会

【大会実施要項】

主　　旨　生涯現役 親睦第一 勝敗第二 を合言葉に、高齢者がいくつになってもサッカーのできる環境
つくりとともに、全国のシニアチームとの親睦を深めシニアサッカーのより一層の普及を図る

主　　催　西日本OBサッカー連盟

主　　管　西日本OBサッカー連盟 創立50周年記念事業実行委員会、西日本OBサッカー連盟 中部地域

後　　援　一般社団法人静岡県サッカー協会
一般社団法人静岡県サッカー協会シニア委員会

期　　日　2024年7月6日(土)、7日(日)

会　　場　小笠山総合運動公園内・・・人工芝・多目的運動広場・芝生広場1・2 (計4面)

参加資格　<80才以上(080)PR(プラチナロイヤル)の部> 1945年4月1日以前の生まれ
<75才以上(075)SR(スーパーロイヤル)の部> 1950年4月1日以前生まれ
<70才以上(070)R(ロイヤル)の部> 1955年4月1日以前生まれ
(西日本OB連盟・登録チーム及びJFA登録者)

競技規則　日本サッカー協会(JFA)競技規則に準ずる(ただし、下記のとおり特例を設ける)
(1)試合時間は20分－5分－20分とし、延長およびPK戦は行わない
(2)ベンチはピッチに向かって組合せ表の左のチームが左、右のチームが右とする。
(3)メンバー表の提出は不要であり、選手は試合開始前に審判員に用具チエックをうけること
(4)健康管理のため、同一選手が075、080のクラスに登録し、出場することはできない
(5)選手交代は自由とし、一旦退場した選手も主審許可を得て再入場できる
(6)大会中に退場を命じられた選手は、次の1試合は出場できない。ただし、退場者の補充を認める
(7)大会中に警告を2回受けた選手は、次の1試合は出場できない
(8)試合球として、380ｇの軽量球を各チームの持ち寄りとする
(9)ショルダーチャージ・スライディングは反則とし、直接フリーキックで再開する
(10)女性の参加資格は次の通りとする
＊080クラス　50歳以上　ピッチには2人まで
＊075・070クラス　40歳以上　ピッチには2人まで
(11)ユニフォーム　正副2色を用意する(背番号があればビブスでも可)

参加料　西日本OBサッカー連盟登録チームは1チームあたり 10,000円
未登録チームは1チームあたり 20,000円

経　　費　大会参加にあたる費用は全て参加チームの負担とする
待機所 テント村、更衣室等を大会主催者が準備する。
但し貴重品は各自で管理すること。大会主催者は貴重品等の盗難に対し責任を負わない

医療チーム　大会中は担当ドクターが待機し、ケガ・急病等の応急処置までを対応する

傷害補償　参加チーム又は各個人はそれぞれ傷害保険に加入すること

健康管理　参加チーム代表者は、「緊急連絡先・情報カード」等により、ケガ・急病者の情報を医療関係者に提供する。

その他　(1)開会式・閉会式・監督会議は行わない。会場に到着次第、受付手続きを行い、テント村で待機すること
(2)本大会要項に規定されていない事項は、大会実行委員会において協議の上決定する。

大会総合窓口
西日本OBサッカー連盟　会長 鈴木 南海雄　携帯:090-2343-8018
同　事務局長 羽田 恒太　携帯:090-4187-7738

西日本OBサッカー連盟創立50周年記念大会参加チーム一覧表

NO.	区分	クラス	NO.	チーム名	地域 都道府県
1	連盟	PR （O-80）	1	連盟連合80	全域
2			2	東海連合80	中部地域
3			3	京都暁FC80	関西地域
4	招待		4	神奈川80	神奈川
5			5	静岡イースト80	静岡
6			6	静岡ウエスト80	
7	連盟	SR （O-75）	1	九州・北陸75	全域
8			2	愛知連合75	中部地域
9			3	四国連合75	中四国地域
10	招待		4	東京SFL75	東京
11			5	神奈川75	神奈川
12			6	甲斐シニアSC75	山梨
13			7	静岡・東部75	静岡
14			8	静岡・中東部75	
15			9	広島シニア75合同	広島
16	連盟	R （O-70）	1	浜松怪童クラブ70	中部地域
17			2	ゴールドフェニックス福井70	
18			3	信州惑々SC70	
19			4	岐阜サッカーOB会70	
20			5	FC各務原フェニックス70	
21			6	名古屋500クロウズクラブ70	
22			7	三河ロイヤル70	
23			8	四日市FC70	
24			9	伊賀FCシニア70	
25			10	阪奈連合70 A	関西地域
26			11	阪奈連合70 B	
27			12	西日本元老70	
28			13	京都暁FC70	
29			14	新宮MTK70	
30			15	中四国連合70	中四国地域
31	招待		16	茅ヶ崎シニア70	神奈川
32			17	湘南ペガサスSC70	
33			18	山梨ドリーム70	山梨
34			19	焼津飛魚SC70	静岡
35			20	清水新星クラブ70	
36			21	静岡・東部70	
37			22	NPO藤枝東FCシニア70	
38			23	磐田シニア70	

2024年度 連 盟 加 入 者 (チーム別・カテゴリー別) 一 覧 表　　（単位：名）

No.	チーム名	O-80	75～79	70～74	O-70	O-60	会員合計
		①	②	③	④＝①～③	⑤	④＋⑤
1	浜松怪童クラブ	7	8	5	20	9	29
2	名古屋５００クロウズクラブ	20	10	24	54	35	89
3	豊田シニアフットボールクラブ	5	13	16	34	33	67
4	刈谷アゴーズ	0	0	10	10	16	26
5	岐阜サッカーＯＢ会	13	8	14	35	37	72
6	FC各務原フェニックス	3	9	14	26	26	52
7	四日市フットボールクラブ	2	10	11	23	23	46
8	伊賀フットボールクラブ・シニア	5	15	10	30	21	51
9	信州惑々サッカークラブ	2	13	17	32	17	49
10	ゴールドフェニックス福井	6	9	14	29	25	54
11	金沢フェニックスクラブ	6	13	18	37	18	55
12	あしがるサッカー富山	9	7	9	25	4	29
	中部地域計	**78**	**115**	**162**	**355**	**264**	**619**
13	滋賀OBサッカークラブ	6	9	12	27	29	56
14	NPO法人 京都暁フットボールクラブ	14	9	25	48	49	97
15	奈良フットボールクラブＯＢ	4	5	15	24	32	56
16	交野フットボールクラブ	3	4	10	17	20	37
17	豊中フットボールクラブ	0	0	1	1	13	14
18	新宮ＭＴＫサッカークラブ	0	0	5	5	4	9
19	ニコルスFCシニア	0	0	3	3	35	38
20	(社)神戸フットボールクラブ ベテランズ	5	7	16	28	32	60
21	もののけ２０００フットボールクラブ	1	0	0	1	22	23
22	関西白線クラブ	1	2	8	11	0	11
23	櫻ミッションフットボールクラブ（SMFC)	3	8	21	32	4	36
24	堺けまり団	0	1	4	5	17	22
25	和歌山毬游倶楽部	0	1	3	4	16	20
26	和歌山シニアフットボールクラブ	0	0	4	4	17	21
27	奈良蹴翁	0	1	13	14	14	28
28	北河内フットボールクラブ	0	2	13	15	24	39
29	八尾シニアＦＣリバイバル	0	1	1	2	8	10
30	西日本元老	5	12	16	33	26	59
31	FCサンカント	0	0	0	0	11	11
32	箕面ホーリン	0	4	8	12	2	14
	関西地域計	**42**	**62**	**170**	**274**	**362**	**636**

No.	チーム名	O-80	75～79	70～74	O-70	O-60	会員合計
		①	②	③	④＝①～③	⑤	④＋⑤
33	徳島ＯＢサッカークラブ	1	6	13	20	33	53
34	えひめ四十雀クラブ	13	9	8	30	16	46
35	高知昭和ＯＢ会	7	11	12	30	28	58
36	シニア岡山フットボールクラブ	0	0	0	0	16	16
37	島根シニア	2	6	18	26	23	49
中四国地域計		**23**	**32**	**51**	**106**	**116**	**222**
38	大分ＯＢサッカークラブ	3	10	13	26	24	50
39	長崎紫陽花（しょうか）倶楽部	1	1	5	7	20	27
40	島原オールドボーイサッカー倶楽部	5	1	5	11	16	27
41	熊本オールドキッカーズ（KOK）	18	14	14	46	17	63
42	ランザ熊本シニアサッカークラブ	0	1	0	1	23	24
43	熊本南オールスターズフットボールクラブ	0	0	8	8	12	20
44	城まちフットボールクラブ	0	0	7	7	29	36
45	フットボールクラブ延岡	8	14	11	33	23	56
46	都城ヤングマン	1	0	15	16	17	33
47	鹿児島元老フットボールクラブ	11	18	12	41	28	69
48	宮崎ドリームフットボールクラブ	1	10	18	29	38	67
49	九州元老	6	9	13	28	15	43
50	薩摩シニアFC	0	1	8	9	19	28
51	桜島FC	0	0	8	8	20	28
52	熊本もっこすFC	1	5	10	16	0	16
九州地域計		**54**	**78**	**121**	**253**	**262**	**515**
合計		**197**	**287**	**504**	**988**	**1,004**	**1,992**
構成比率		9.9%	14.4%	25.3%	④＝①～③	50.4%	100.0%

西日本OBサッカー連盟創立50周年記念大会試合結果表

試合組合せ　　第１日目　7月6日（土試合時間：20分―5分―20分　　試合間は10分間隔

会場	試合時間		クラス	チーム名	スコア			チーム名
人工芝ピッチ	第１試合	９：３０～１０：１５	R	中四国連合70	0	－	4	三河ロイヤル70
	第２試合	１０：２５～１１：１０	R	焼津飛魚SC70	0	－	0	岐阜サッカーOB 70
	第３試合	１１：２０～１２：０５	R	四日市FC 70	2	－	0	磐田シニア70
	第４試合	１２：１５～１３：００	R	中四国連合70	1	－	5	静岡・東部70
	第５試合	１３：１０～１３：５５	R	京都暁FC 70	2	－	1	三河ロイヤル 70
	第６試合	１４：０５～１４：５０	R	茅ヶ崎シニア70	4	－	0	岐阜サッカーOB 70
	第７試合	１５：００～１５：４５	R	名古屋500CR 70	1	－	1	西日本元老70
	第８試合	１５：５５～１６：４０	R	京都暁FC 70	2	－	2	静岡・東部70
会場	試合時間		クラス	チーム名	スコア			チーム名
多目的運動広場	第１試合	９：３０～１０：１５	R	FC各務原フェニックス70	1	－	1	NPO藤枝東FCシニア70
	第２試合	１０：２５～１１：１０	R	浜松怪童クラブ70	2	－	3	茅ヶ崎シニア70
	第３試合	１１：２０～１２：０５	R	名古屋500CR 70	0	－	0	山梨ドリーム70
	第４試合	１２：１５～１３：００	R	NPO藤枝東FCシニア70	1	－	2	阪奈連合70 B
	第５試合	１３：１０～１３：５５	R	新宮MTK 70	0	－	0	四日市FC 70
	第６試合	１４：０５～１４：５０	R	浜松怪童クラブ70	2	－	0	阪奈連合70 A
	第７試合	１５：００～１５：４５	R	FC各務原フェニックス70	2	－	2	湘南ペガサスSC70
	第８試合	１５：５５～１６：４０	R	焼津飛魚SC70	6	－	1	阪奈連合70 A
会場	試合時間		クラス	チーム名	スコア			チーム名
芝生広場1	第１試合	９：３０～１０：１５	R	清水新星クラブ70	3	－	0	山梨ドリーム70
	第２試合	１０：２５～１１：１０	PR	静岡ウエスト80	1	－	1	東海海合80
	第３試合	１１：２０～１２：０５	SR	広島シニア75合同	2	－	1	静岡・中東部75
	第４試合	１２：１５～１３：００	PR	静岡ウエスト80	0	－	2	神奈川80
	第５試合	１３：１０～１３：５５	PR	京都暁FC 80	2	－	1	静岡イースト80
	第６試合	１４：０５～１４：５０	PR	東海連合80	0	－	5	神奈川80
	第７試合	１５：００～１５：４５	PR	静岡イースト80	3	－	0	連盟連合80
	第８試合	１５：５５～１６：４０	SR	静岡・中東部75	4	－	0	九州・北陸75
会場	試合時間		クラス	チーム名	スコア			チーム名
芝生広場2	第１試合	９：３０～１０：１５	SR	静岡・東部75	3	－	2	愛知連合75
	第２試合	１０：２５～１１：１０	SR	神奈川75	3	－	0	甲斐シニアSC 75
	第３試合	１１：２０～１２：０５	SR	東京SFL 75	1	－	2	愛知連合75
	第４試合	１２：１５～１３：００	SR	静岡・東部75	0	－	2	四国連合75
	第５試合	１３：１０～１３：５５	SR	神奈川75	1	－	1	広島シニア75合同
	第６試合	１４：０５～１４：５０	SR	東京SFL 75	1	－	0	四国連合75
	第７試合	１５：００～１５：４５	R	ゴールドフェニックス福井70	6	－	0	磐田シニア70
	第８試合	１５：５５～１６：４０	R	伊賀FCシニア70	3	－	5	阪奈連合70 B

西日本OBサッカー連盟創立50周年記念大会試合結果表

試合組合せ　　第2 日目　7月 7日（日）　　試合時間：20分―5分－20分　　試合間は10分間隔

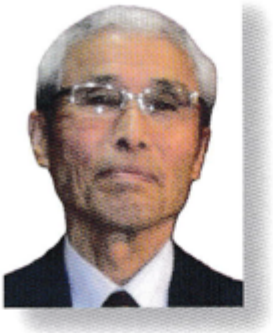
会場	試合時間		クラス	チーム名	スコア			チーム名
人工芝ピッチ	第１試合	９：００～９：45	R	信州惑惑々70	0		1	浜松怪童クラブ70
	第２試合	９：５５～１０：４０	R	伊賀FCシニア70	2	－	2	湘南ペガサスSC70
	第３試合	１０：５０～１１：３５	R	新宮MTK 70	0	－	1	磐田シニア70
	第４試合	１１：４５～１２：３０	R	ゴールドフェニックス福井70	1	－	1	四日市FC 70
	第５試合	１２：４０～１３：２５	R	茅ヶ崎シニア70	1	－	0	焼津飛魚SC70
	第６試合	１３：３５～１４：２０	R	湘南ペガサスSC70	0	－	3	NPO藤枝東FCシニア70
	第７試合	14:30～15：10	R	ゴールドフェニックス福井70	0	－	0	新宮MTK 70
会場	**試合時間**		**クラス**	**チーム名**	**スコア**			**チーム名**
多目的運動広場	第１試合	９：００～９：４５	R	阪奈連合70 A	1	－	0	岐阜サッカーOB 70
	第２試合	９：５５～１０：４０	R	山梨ドリーム70	2	－	6	西日本元老70
	第３試合	１０：５０～１１：３５	R	京都暁FC 70	3	－	0	中四国連合70
	第４試合	１１：４５～１２：３０	R	西日本元老70	1	－	4	清水新星クラブ70
	第５試合	１２：４０～１３：２５	R	三河ロイヤル70	3	－	0	静岡・東部70
	第６試合	１３：３５～１４：２０	R	伊賀FCシニア70	中止			浜松怪童クラブ70
	第７試合	14:30～15：10	R	信州惑惑々70	0		3	焼津飛魚SC70
会場	**試合時間**		**クラス**	**チーム名**	**スコア**			**チーム名**
芝生広場1	第１試合	９：００～９：４５	PR	連盟連合80	0	－	5	京都暁FC 80
	第２試合	９：５５～１０：４０	SR	静岡・東部75	1	－	2	東京SFL75
	第３試合	１０：５０～１１：３５	PR	静岡イースト80	4	－	0	東海連合80
	第４試合	１１：４５～１２：３０	PR	京都暁FC 80	1	－	3	神奈川80
	第５試合	１２：４０～１３：２５	PR	連盟連合80	0	－	3	静岡ウエスト80
	第６試合	１３：３５～１４：２０	SR	静岡・中東部75	0	－	3	神奈川75
会場	**試合時間**		**クラス**	**チーム名**	**スコア**			**チーム名**
芝生広場2	第１試合	９：００～９：４５	SR	静岡・中東部75	1	－	2	甲斐シニアSC 75
	第２試合	９：５５～１０：４０	SR	九州・北陸75	0	－	3	広島シニア75合同
	第３試合	１０：５０～１１：３５	SR	愛知連合75	2	－	1	四国連合75
	第４試合	１１：４５～１２：３０	R	阪奈連合70 B	0	－	1	FC各務原フェニックス70
	第５試合	１２：４０～１３：２５	SR	九州・北陸75	中止			甲斐シニアSC 75
	第６試合	１３：３５～１４：２０	R	名古屋500CR 70	1	－	3	清水新星クラブ70

・大会お祝い寄稿文ご紹介

西日本OBサッカー連盟創立50周年記念に寄せて

　創立50周年に際しまして、連盟OB・会員の方々からお祝いの寄稿文をいただきました。

　ご紹介いたします。



「70歳になってもボールを蹴りたい」＝ロイヤル交流会＝今昔

西日本OBサッカー連盟　名誉会長
松崎　隆美

今では70歳になれば〝ロイヤル〟としてゲームに参加出来るのがあたりまえになっていますが、当初はチームの編成が出来ず、60歳代の元気な赤パンツに混じって、しんどいサッカーを余儀なくされていました。

個々には数少ない70歳代ではありますが、西日本各地域に呼びかけて大会を開けば、ゲームを楽しめるメンバーが集まるのではないかと、当時の会長、関谷さんに相談をして立ち上げたのが〝ロイヤル交流会〟です。

第1回は京都暁チームの協力を得て、京都浄化センターのグランドで開催しました。
思いの外多くのエントリーがあり、事務局長としての経験も浅い私には、ゲームの進行に右往左往したことが思い出されます。
第2回は愛媛松山市総合運動公園、2007年6月14日。第3回は石川県粟津温泉、2008年4月11日。以後毎年開催地を替えて、現在の金沢フェニックスのお世話に至っています。

連盟創立50周年おめでとうございます

静岡県サッカー協会シニア委員会　元会長
鈴木　常夫

西日本OBサッカー連盟創立50周年、誠におめでとうございます。50年前というのは静岡県でもシニアサッカークラブが清水と浜松で立上り、そして静岡県シニアサッカーリーグの準備をはじめたころです。

その後、全国シニアサッカー大会東海予選では、愛知・岐阜・三重と西日本ＯＢサッカー連盟チームと多くの戦いをやってきました。
よきライバルであると同時に、よき仲間としてこれからも日本のシニアサッカー界をひっぱる同士として共に頑張っていきたいと思います。
ともかく50周年おめでとうございます。

あれから50年

西日本OBサッカー連盟　前監事
島田　裕正

昭和49年大阪のとある会社の会議室。西日本京都、大阪、神戸を中心とした連盟をつくろうとの機運が高まり、北陸、名古屋中心に心ある方々が集まった。西日本とはどこまでかとの議論から、シニアサッカーの考え方の違いがありました。

連盟を運営するには資金が必要です。その時各チームよりの浄財の流用問題が起きました。小生、失礼ながら北陸代表、喜多氏の代理として役員会に出席し見守りました。

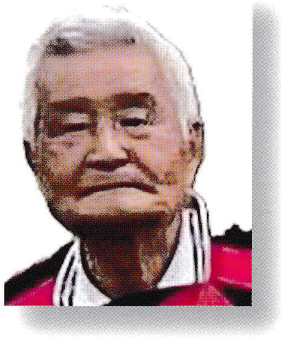
緒方、関屋、松崎歴代会長及び各地役員の皆様と北陸代表としてお顔を合わせました。

話し合いの末、北陸にて何度か西日本全域大会を開催出来ました。

そして、連盟への思いは何年に一度か大阪堺を離れ各地を回る流れはどうでしょう。高齢化社会の中で各地の高齢選手の交流の場を作るのも使命の一つではないでしょうか。

大きな事務的なエネルギーが必要かと思いますが、マスコミ報道により高齢選手の参加がしやすい環境ができるのではと思います。

まだまだ高齢選手のプレーには世間的な驚きがあるようです。選手の「溌剌さ」を世間に発信する使命もあるようです。



世界初の八〇歳超
サッカー大会を開催

2013＆2014年度　事務局長
柴田　正康

2013年度、連盟事務局長を8年に亘り務められた松崎さんが会長に昇格され、その後任に親交が在った私が指名を受けました。

当時のシニアサッカーを取り巻く環境は、代表強化だけに追われていたJFAがシニア層の取込を始め、連盟が担って来た40歳超の大会がJFAに浸食されていました。JFAが取り組めない分野、75歳超、80歳超の大会の創設を目標としました。

2013年世界初？の75歳超大会を立ち上げ、翌年連盟創立40周年記念「80歳超大会」を開催できました。嬉しい事に、この大会が起爆剤となり、関東地域、東北地域を始め、各地で超シニアの大会が開催され、昨年には静岡県と首都圏で80歳超の「リーグ戦」が催行される迄、発展しました。

只、単独チーム編成が難しいので、連合チーム組成への連盟本部の努力を強く望みます。

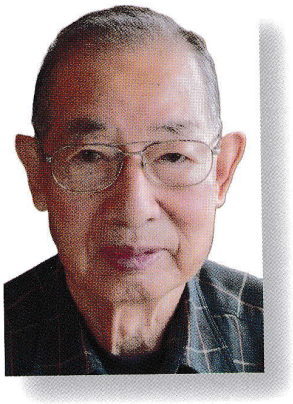
思　い　出

岐阜サッカーOB会
守屋　秀夫

私は連盟に登録して48年、連盟の企画大会、ねんりんピック、全国シニア大会に遠征して他県のチームと交流を深めた思い出が有ります。2011年11月に第1回サミット（O-79）の全域大会が、J-GREEN堺で開催され、東海連合、関西連合、西日本連合、関東連合の四チームで素晴らしい天然芝のグランドで楽しみましたが、関東連合の皆様の老練の技でパス、シュートが正確で大差がつき、残念、サミットは3回参加するが、以後、足、腰の不調で遠征試合は困難になり、現在は近県の大会に参加出来るように月2回（O-75）の仲間と練習しています。

今後も親睦と交流を深めて楽しいサッカー人生を送りたいと思っています。

連盟の益々の発展を祈念しております。

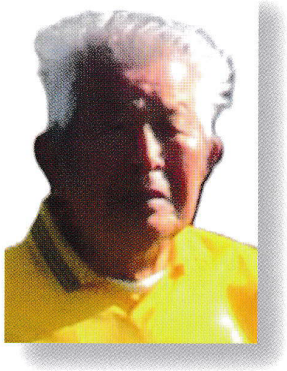


創立50周年
おめでとうございます

四日市フットボールクラブ
鎌田　光夫

勝っては喜び、敗けては口惜しがる、そして笑い合えるのがシニアサッカーの醍醐味でした。多くの仲間と共有できたことは人生を豊かにしてくれたと、皆様に感謝しております。

皆様の益々のご健勝をお祈りいたすと共に、お世話いただいた連盟会長、事務局長にも厚く御礼申し上げます。



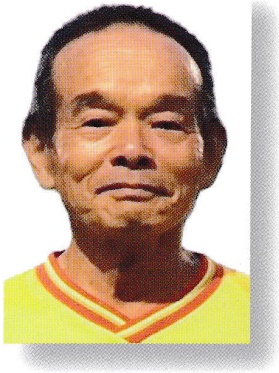
〝一戦が転機となって〟

名古屋500クロウズクラブ
河合　弘治

西日本OBサッカー連盟創立50周年記念大会開催にあたり関係の皆様方の尽力によって開催されますことは、誠に喜ばしい限りです。

心からお祝い申し上げるとともに、開催にあたってご努力いただいた皆様に敬意を表します。

私は東海連合チームメンバーの一人としてとして平成27年11月12日（木）にJ-GREEN堺（堺市堺区）で行われた第3回スーパーロイヤル（O-75）全域大会に参加し、京都暁チームとのゲームで1対0の敗戦をした時に初めて“個人技をもっと高めよ”と初心に帰して練習そのものを楽しむことを心に決めました。技あってこそチームワークであると心に決め大会に参加し、親睦第一を心に刻んで、今年八十七歳を迎え生涯現役を楽しんで参加しています。



連盟創立50周年
おめでとうございます

元怪童クラブ　会長
岩切　虔造

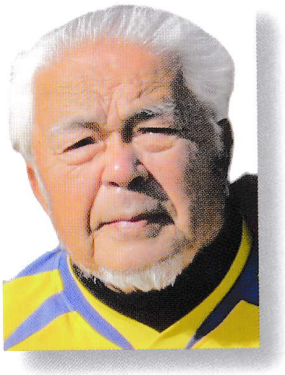
西日本OBサッカー連盟創立50周年おめでとうございます。

50年前といえば、私は浜松西高サッカー部のOBでつくる西山クラブで浜松市のリーグ戦に参加してサッカーを楽しんでいました。

たまたま神戸チームが浜松にやってくるということで西山クラブの代表の中井の方から話があり、加藤正信先生率いる神戸チームと佐鳴湖グラウンドで交流戦を行いました。
翌年、西山クラブをひっぱって神戸に行き、そこで西日本OBサッカー連盟に加盟しました。
翌年、浜松北高と浜松西高のOBが中心になりシニアサッカークラブ“浜松怪童クラブ”をつくり浜松怪童クラブとして参加しました。

伊賀に行ったり大分に行ったり鹿児島に行ったり高知に行ったり、今思えば私のサッカー人生の大半が西日本OBサッカー連盟と共にありました。

50周年おめでとうございます。そして、ありがとうございました。



連盟五十周年にむけて

名古屋500クロウズ
安田　隆太郎

連盟五十周年御目出度う御座います。連盟は、永きに亘り高齢サッカー愛好者の為にも無くてはならない存在でした。

創立当時の規約ではチーム編成が30歳代、40歳代、50歳代の3区分で編成され、現在のPR、SR、R、V、A、Bの6区分と較べると如何に高年齢化が進んだとは言え雲泥の差で、このままだと100才の選手も夢ではないでしょう。

私も500クロウズ創立時に入り、この後連盟が創立され五十年間発足当時より大きな病気にもならず無事紫パンツ迄在籍出来ました。

これからは、鶴亀パンツを目指し最後のふんばりとして頑張る心算(つもり)です。

これからも、連盟が長くサッカー愛好者と共に存続していく様、益々の発展を御祈り申し上げます。

幼稚園バスが育てた サッカー選手

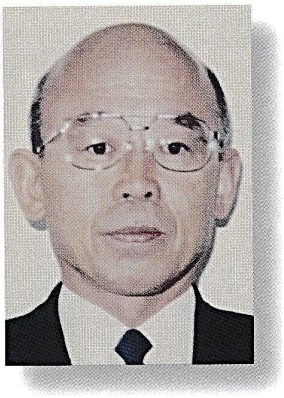
鹿児島元老FC
沖野　淳二

西日本OBサッカー連盟の創立50周年おめでとう！

私共、鹿児島元老FCは、鹿児島四十雀を前身に輝かしい実績や経験を積んだベテラン選手を中心に1984（昭和59）年に結成。その際、新たな入団希望者を募り地元紙にも募集の記事が掲載され、希望者の中に鹿児島市で幼稚園を経営する木原利幸選手も応募した。彼は全くサッカーとは無縁の40歳の青年。当時の川畑嘉也監督との面談で、入団の条件として園児を送迎するバスを休日開催される県外遠征に利用させてほしいというもの。勿論、木原利幸さんも快く了解。

早速、その年の10月に第4回西日本OB延岡大会に鹿児島元老も招待され、木原さんは幼稚園バスを運転して早朝出発し深夜に帰着という強行日程。その後も試合での出場時間は短かったものの、バスの提供と運転も担いながら持ち前の俊足を生かしてFWとしての出場時間を増やしていった。今年80歳を迎える木原さんは、今では海外遠征はもとより堺や金沢の大会には個人的に参加。多くの仲間と交流を深め、サッカーと酒を愛する中心選手へと成長を続けている。

結びに、貴OBサッカー連盟益々のご発展を念じて、投稿まで。



大会参加を楽しむ

長崎紫陽花倶楽部
渡邊　耕治

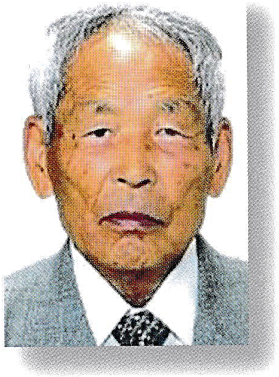
西日本OBサッカー連盟が、めでたく創立50周年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

私がサッカーを始めたきっかけは、高校時代に担任の先生から「君は身体が貧弱だから身体を鍛えた方がいいよ」と暖かいアドバイスをいただき、サッカー部に入部したことです。サッカーに魅せられ、やめられなくなり、今日までサッカー歴65年になります。

西日本OBサッカー連盟には、平成元年長崎シニアFC（平成10年長崎紫陽花倶楽部に改称）で会員となり、主に九州地域の大会に参加し、サッカーを楽しんでおりましたが、還暦を機に西日本元老チームに、古稀に西日本ロイヤルに、75歳からはスーパーロイヤルに、80歳からはプラチナロイヤルチームに入れていただき、友好交流第一、勝敗第二をモットーに各地域の会員とサッカー仲間として親しく交流させていただき、サッカーを大いに楽しむことができ、皆様に感謝しております。ありがとうございました。

75歳位までは、サポーター（妻）同伴で大会に参加し、帰路は各地域の名所旧跡等を観光してサッカー旅行を楽しみました。
これからも生涯現役をめざし、寿パンツ着用までサッカーを楽しみたいと思います。

西日本OBサッカー連盟のますますのご発展を祈念申し上げます。



海外遠征の思い出

FC各務原フェニックス
野村　晃

西日本OBサッカー連盟創立50周年おめでとうございます。私が西日本OBサッカー連盟に加入して最初の交流戦に参加したのは三重県四日市大会でした。そこで何十年ぶりかに母校のサッカー部の後輩に出会い、久しぶりの再会に感激したものです。

西日本OBサッカー連盟では海外チームと親善交流戦を行っており、私も複数回参加させて頂き楽しく過ごしました。一番の思い出は、エジプトで親善試合後のお別れパーティで宿泊していたホテルから誕生日プレゼントを、当時会長の松木氏（故人）から戴いた事です。

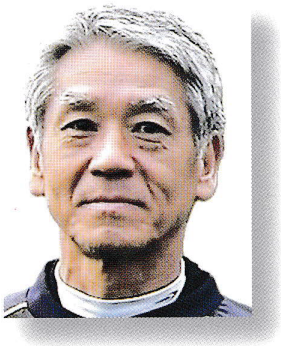
交流会も楽しい事ばかりではなく、哀しい出来事もありました。ポルトガルで熊本から参加していた仲間が体調不良で亡くなりました。私は現在82歳になりますが、元気にサッカーを続けています。西日本OBサッカー連盟のご発展を祈念致します。

最後になりましたが、永年に亘り海外遠征のお世話をして下さった松木様ご夫妻、奥村様、スタッフの皆様に心から感謝致します

サッカーと出会って70年

鹿児島元老FC
長嶺　一夫

これまで健康で生活できたのも、多くの同士とお逢いし、その中心にサッカーがあったからだと思います。「生涯現役」を目標に楽しいサッカー人生を送れるよう念願し、とりあえずは3年後の紫パンツ達成を目指し健康を保ちます。



お祝いメッセージ

各務原フェニックス O-60　監督
高木　広明

西日本OBサッカー連盟の創立50周年を心よりお祝い申しあげます。長年シニアサッカーの発展に貢献されてきた功績を讃えるとともに、今後ますますのご発展とご活躍を各務原フェニックスメンバー一同祈念しております。

西日本ＯＢサッカー連盟 創立50周年お祝いのことば

えひめ四十雀フットボールクラブ　会長
大塚　猪佐雄

西日本OBサッカー連盟創立50周年誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

1974年創立以来50年の歳月が経ちました。一番の思い出は、2002年日韓共催 ワールドカップサッカー大会の開催を前にして、西日本OBサッカー全域大会を当クラブで運営したことです。故関家許介会長を筆頭に、土曜日の午後から数試合消化してホテル奥道後で汗を流して来賓のご臨席を仰ぎ和やかに、そして賑やかに友好を深めました。私共えひめ四十雀フットボールクラブは昨年創立70周年を迎えました。現役寿パンツ受領2名、紫紺4名、金1名、待機中です。

震災、大規模火災、津波、コロナ禍。数えればきりがない程の天変地異に怯えながら、でも前向きに生きてゆかねばなりません。幸いにも、我々には鍛え上げた肉体と精神が宿っております。西日本OBサッカー連盟中四国始め、全地域が連携して益々連盟の発展に寄与致します。

Jリーグも30周年を迎え、日本のサッカーが世界に通用する時代がやって参りました。ジュニアからシニアまで、幅広いジャンル別に楽しめるようになりました。老兵は去るのみ。後進に道を譲り、ＴＶで高みの見物と洒落てみませんか。

サッカーでも医師でも活躍

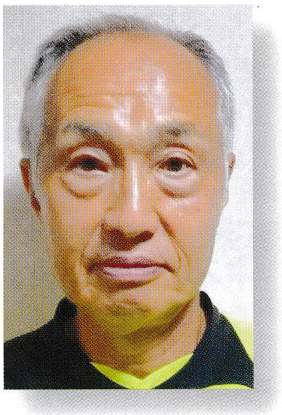
福井ゴールドフェニックス(O-60)
宗本　義則

令和5年の四日市大会で、ピッチ上で心肺停止になった選手を皆と協力し救命し、鈴鹿消防署より賞状を受けました。その後本人にお会いし、今も元気にサッカーを継続しているとのこと選手・医師として喜び一杯です。

「早や５０年？　まだ５０年？」

刈谷アゴーズ
東岡　達郎

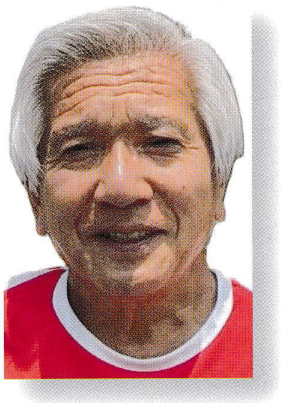
昔なら人生50年。
サッカー大好きシニア達は“生涯現役”。
各年代を通して楽しめているのも連盟のお陰です。サッカーを楽しめる環境づくりはまだまだ50年、更にこの先未来永劫続けて頂ける事を祈願してお祝いの言葉とさせて頂きます。
<写真はコロナ禍の集合写真>ソーシャルディスタンスを保っている刈谷の赤襷



O-70のサッカーに向けて

四日市フットボールクラブO-60
藤田　正美

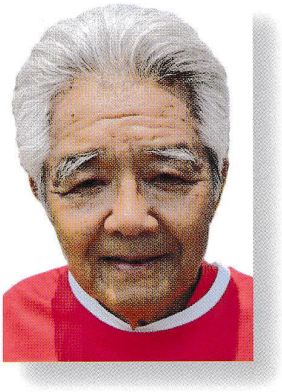
創立50周年、おめでとうございます。
40代から今日まで20数年間、数多くの大会に参加させていただき、シニアサッカーを満喫させていただきました。
70代、80代になっても元気に楽しくプレーできるように頑張ります！



お祝いメッセージ

熊本オールドキッカーズ
堀川　和幸

祝、西日本OBサッカー連盟創立50周年。
50年の間に先輩方が築いた春夏秋冬の九州大会、親睦第一の夜の懇親会、勝敗第二の友好試合と素晴らしい歴史を作ってくれました、大感謝です。継続は力なり、生涯現役を目指します。



西日本OBサッカー連盟 創立50周年を迎えて

熊本オールドキッカーズ(略称:KOK)
鶴川　久男

今回、創立50周年を記念して全国シニアフェスティバル・プレ大会の開催呼掛けを知り、改めて西日本OBサッカー連盟の歴史の重さを噛締めています。

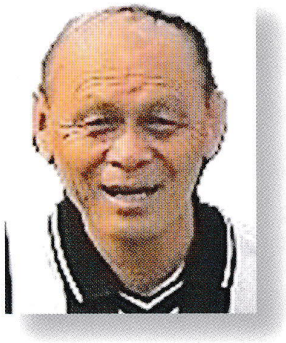
熊本県のサッカーの発展に深く寄与された緒方健司先輩は、西日本OBサッカー連盟の創立にも関係され後に連盟会長にも就任、連盟直轄の元老チームを設立し所属チームの無いプレイヤーにも門戸を広げるなど会員の拡大と連盟の組織の充実に努められたと、お聞きしています。
その後、緒方健司先輩は、連盟創立から20年後の1994年7月に我がKOKが創立された時も創立メンバーの中心の一人でした。

私は、KOK創立から10年後の2004年4月入会。あれから20年まだ駆け出しの青二才にすぎませんが、この20年「生涯現役、親睦第一、勝敗第二」をモットーに好きなサッカーに齢を忘れて熱中。連盟・KOKそして熊本・九州・西日本の数多くの仲間が、このモットーに共感してシニアサッカーに臨場してきたからこそ、この何物にも替え難い楽しい交流が50年もの長きにわたり継続発展して来たのでしょう。

継続発展の流れの中で、西日本シニアから日本中のシニアの交流へと移行していく試みが今回打ち出されているように見受けますが、まさに時代の流れに沿った試みで大賛成です。少子高齢化の時代、我々高齢者が社会のお荷物となり、社会発展の足を引っ張る存在になってはいけないと思います。
我々には、幸いなことにサッカーがあります。好きなサッカーを存分に楽しむことによって、益々健康を増進し、健康寿命を延ばし老人医療費の削減に協力して未来に続く若者の負担軽減に貢献しましょう。

最後になりましたが、今回創立50周年記念事業として「全国シニアフェスティバル・プレ大会の開催」を企画立案して下さった鈴木南海雄会長はじめ役員の皆様のご苦労に敬意を表すると同時に、感謝申し上げ今後皆様の益々のご健康とご多幸をお祈りいたします。

そして、連盟所属団体として今後も当連盟の運営に協力を惜しまないことを誓います。



“楽しく、ボールで心をつなぐ”

各務原フェニックス　会長
土屋　万英

西日本OB連盟の皆様50周年誠におめでとうございます。また記念大会が盛大に開催されますことをお慶び申し上げます。

各務原フェニックスクラブは、“ボールで心をつなぐ”をモットーにして設立15年目を迎えました。当初Aクラス、Vクラスだけでしたが、それぞれ上がって今はA・V・Rの75名余りが在籍しております。この間、遠方への遠征大会や年輪ピックへの参加など振り返ってみれば、どれも新鮮でみんなの心に素晴らしい思い出が刻み込まれています。また、行く先々での美味しい郷土料理とお酒は、ますます交流を深めることができて思い出が深く刻まれています。

さて、キャプテン翼の作者である高橋陽一先生にお会いする機会がありました。「翼君はだれになりますか？」と尋ねたら、即座に“小野伸二”との答えでした。

今年の１月８日、キャプテン翼スタジアム垂井でのサッカー教室に、その彼が参加してくれました。生で見るのはもちろん初めてです。

ぬかるみの悪いピッチコンデションの中でしたが、足元に吸い付くようなトラップ、緩急自在なコントロール、後ろに目がついているようなヒールパスなど、小野伸二選手のプレーに、唖然とし度肝を抜かれました。

この時、参加した子供たちは“トラップが吸い付き、パスがピタッと！口々にその驚きや体験を話してくれました。彼は若くしてワールドカップに選ばれ、全盛期はもちろん、引退会見などすべてのインタビューに”楽しく“という言葉を一貫して掲げています。

伸二さんの気遣いがすごい！私生活の面でも後輩たちがその人間性に触れ、慕い、リスペクトしています。プレーはもちろんのこと、彼の“楽しく”は自然に、自分だけでなく周りのすべての人を楽しくさせてしまいます。

話は変わって、今年も新設された金沢スタジアムで「第25回交流IN石川・金沢大会」が開かれ、私も参加させていただきます。３回目となる前々回の大会、その日初めて同じチームとなった金沢フェニックスの松野さんから「土屋さん上げるから…」と言われ、放たれたアーリークロスは正確に私の頭を捉えました、当てるだけでボールはゴールネットに吸い込まれていきました。その一瞬は何ものにも変え難い“快感”となり、喜びを爆発させてくれました。

松野さんから私の頭に届けられた「放物線を描いたボール」はまさに“ボールで心をつなぐ”そのものでした。終了間際の１点は、値千金のゴールとなり、初めての賞をいただきました。

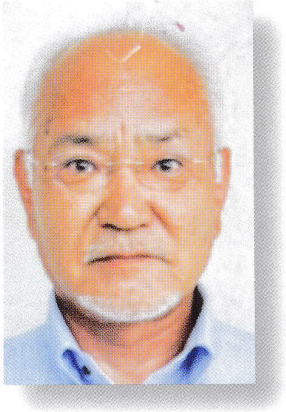
一生の思い出であり宝物です。

お祝いメッセージ

熊本オールドキッカーズ
那須　啓次郎

私は転勤族だった為、全国各地に住み各地のサッカークラブに迎え入れて貰いました。熊本に帰ってからの今は、連盟の開催大会で、お世話になった各地の参加選手との再会を楽しみにしています。旧友等との再会という点で、連盟にお世話になっていてとても感謝しています。連盟の創立、活動に携わられている諸氏に感謝するものです。

連盟万歳。

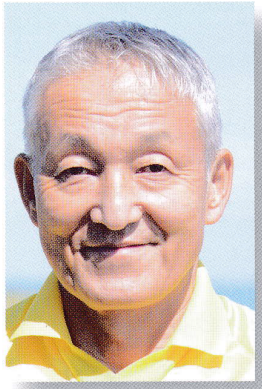


西日本OBサッカー連盟 創立50周年お祝いのことば

宮崎ドリームフットボールクラブ　会長
村上　雅晴

創立50周年記念に際し心からお祝い申し上げます。長きにわたりサッカー界に貢献されてきた貴連盟の指導力と運営力に対し心より感謝申し上げます。

従来より苦難多き道程であったと存じますが、今後共我々シニア世代がサッカーを楽しめる場を提供いただきます様、宜しくお願い申し上げます。



連盟と共に

名古屋500クロウズクラブ　事務局長
細江　正幸

連盟創立50周年おめでとうございます。

名古屋500クロウズクラブは、連盟創立時に、その掛け声に応じて、愛知県の蹴球協会や旧制学校の蹴球部OB会を中心に発足しました。名称は当時のイレブンの年齢合計に由来します。現在、在籍者は150人を超し、全員が生涯現役を目標に、信頼し敬愛し合える友とサッカーを楽しんでいます。今後も、連盟と共に末長く活動を続けて参ります。

【西日本OBサッカー連盟　豊田大会2024/6/15　Vクラス】

細江↓

創立50周年記念大会お祝いメッセージ

豊田シニアFC
中村　安秀

西日本OBサッカー連盟創立50周年、おめでとうございます！
西日本OBサッカー連盟の活動スローガンである「生涯現役」第1に各チームとの交流、諸先輩方への思いやり、勝負は二の次だとチーム先輩方に教えられ、各地域での交流戦を楽しく続けられて仲間を増やせることが出来ました。
創立当時より、携わった先輩方に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

豊田シニアFCはまだ創立25年ですがJリーグ発足前の日本リーグで活躍されたレジェンドの方がたくさん居られ、本当に組織的な連携と個人技も上手いなーと感心ばかり。この年齢までサッカーをやるとは思っていなかったですが学生時代の青春時代よりはるかに第２の青春時代としてサッカーに没頭することが出来ました。
この歳まで続けるために、50歳で煙草も止め、日頃より継続的に体を動かすことが励みになり、心身の健康に役立っております。

これからも諸先輩方が築いていただいた、色々な交流戦を継承出来る様に微力ながら豊田シニア全員で頑張って行きますので、ますますの西日本OBサッカー連盟の発展を祈念しております。
生涯現役でワンチーム・おもてなしの心で西日本OBサッカー連盟を盛り上げて行きましょう！

<2023年 家康公記念杯 in 清水>

「創立50周年記念大会によせて」

西日本OBサッカー連盟九州地域会　会長
島原OBサッカー倶楽部　会長
高橋　精一郎

西日本OBサッカー連盟創立50周年記念大会の開催、誠におめでとうございます。私は入会して日が浅いですが、「友好第一」「勝敗第二」「疲れたら交代」「回復したら出場」を築いてこられた先輩方の努力だと感謝します。

今後益々の発展を祈念します。

創立50周年記念大会にあたって

熊本もっこすFC　代表
大嶋　和博

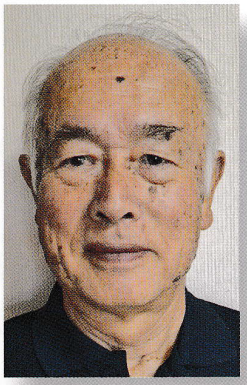
緒方健司さん、岡田良雄さんに誘われて、熊本OBクラブに参加したのは40年前で白パンツでした。ランザ熊本そして今は熊本もっこす代表です。銀パンツを履いていますが、当面の目標は金パンツです。生涯スポーツとしてのサッカーを謳歌しようと思っています。

50周年記念

徳島OBサッカークラブ　責任者
奥本　眞市

西日本OB連盟50周年記念おめでとうございます。
35年前位から参加させていただいております。県内では40歳リーグ始まったころです。
その頃は50歳以上の選手は珍しかった。しかし、今では90才過ぎても現役で頑張っておられます。

金、紫、寿パンツを履いてプレーできることを目標にしてます。
生涯現役で参加できる、この西日本OB連盟の益々の発展を願っています。



連盟五十周年にむけて

滋賀サッカークラブ
森津　陽太郎

我ながらなかなか面白いサッカー人生だと思う。高校からサッカーを始め大学、社会人と続けた。滋賀県で国体が開催されるので当時の県サッカー協会から審判資格を取るように言われ、審判の道に足を踏み入れた。国際審判員になることができたり、Jリーグの開幕時には 主審として熱気あるスタート年に立ち会うこともできた。審判引退後は、Jリーグのマッチコミッショナーや審判インストラクターとして活動。また県サッカー協会会長として4年間、滋賀への恩返しもできた。

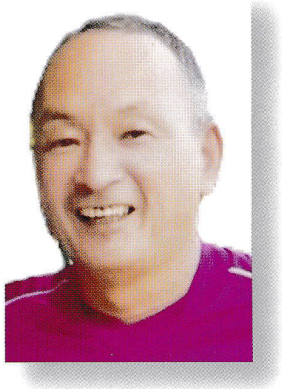
ただ、根底にはできる限りボールを蹴り続けたいという思いもあり、シニアの試合ができる西日本OBサッカー連盟の存在はありがたかった。審判や会長職ももちろんやりがいがあり充実したサッカー活動だが、ボールを蹴ることに勝るものはない。

いろいろな場面で出会ったサッカー仲間たちとシニアサッカー大会で再会し、旧交を温めることができた。可能な限りボールを蹴り続けたいと思っている。

「創立50周年記念大会に寄せて」

西日本OB連盟 九州地域会事務局長、
島原OBサッカー倶楽部
堀口　雅彦

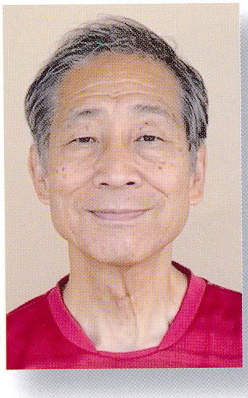
西日本OBサッカー連盟創立50周年記念大会の開催、誠におめでとうございます。私が入会して15年が経過しましたが、この間チーム数や会員数が増加したのは、先輩方の努力だと思います。今後益々の発展を祈念します。



サッカーを通して

宮崎ドリームフットボールクラブ　理事長
兼西日本宮崎事務局
久木元　伸行

高校総体出場50年記念の年に、西日本OB連盟も50年を迎え縁を感じます。加入して10年が経とうとするこの年で、中学時代の恩師と同じチームでサッカーが出来る喜びと感謝を感じて今後も頑張ります。



「祝 連盟創立50周年、改めて感謝！」

交野フットボールクラブ
藤丸　一郎

大阪東部の小さな町「交野」に少年チームが誕生したのは1973年のこと。交流大会に参加すると、子ども達の休憩時間を利用して親同士のミニ交流戦がよく行われていた。交野FCの「おやじチーム」(後に、シニアと改称)はそんな交流戦に向けてできた素人ばかりの集まりだった。

時同じくして1974年、OB連盟が発足。神戸F Cの加藤先生から声をかけて頂き、素人集団も運良くその一員に加えて頂くことになったと、先輩から当時の話を聞いている。

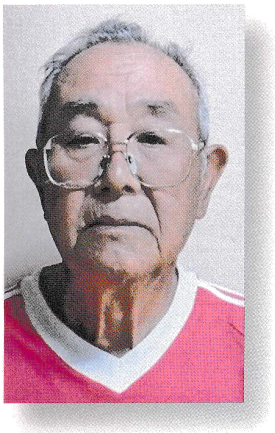
そんな出会いから連盟と共に50年。白かったパンツは金や紫色になり、当時の少年達はシニアの一員となってクラブを支えている。振り返れば、「親睦第一」に後押しされ、黒星を気にせず、ボールを追い、笑い、黄金色に輝く杯を高々と掲げるという何とも幸せな時間を随分たくさん持つことができた。(杯は、もちろん白い泡が浮かぶ杯だ)

半世紀に亘り、数多くの楽しみを賜ったOBサッカー連盟と所属各チームの皆様に、この場を借りて心より感謝とお礼を申し上げます。

「祝50周年」

都城ヤングマン
甲斐　輝幸

50周年おめでとうございます。先輩の方々が、長きに亘り築いてこられたチーム毎の結束力の継続と共に、連盟の更なる団結と今後のご発展を心よりお祈り申し上げます。



創立50周年記念大会にむけて

九州元老　会長
荒木　英治

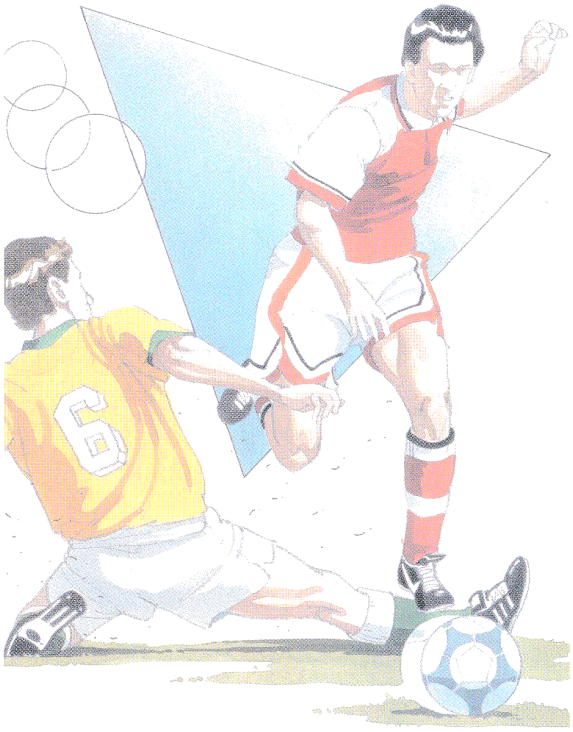
西日本OBサッカー連盟創立50周年記念大会の開催、おめでとうございます。
「九州元老」として大会には参加できませんが大会が成功裏に挙行されることを祈念します。

「九州元老」は西日本OBサッカー連盟入会当初は、連盟主催の大会に大阪の「西日本元老チーム」に所属してチームの一員として大会に参加しました。
九州地域大会には、当時の緒方会長等の配慮もあり「西日本OBサッカー九州」で参加。世話役は七蔵司真一氏（大分）で、九州地域大会に数名で申込み、参加させてもらうチームが難しく、単独チームからの「毒舌に泣き我慢した」時期もありました。

2007年当初「西日本OBサッカー九州」として大会参加していたが、連盟本部から名称変更依頼を受け、九州地域で「単独チームでの登録はできないがサッカーを継続したいメンバー」が山鹿市に比嘉氏（都城）渡辺氏（長崎）成田氏（大分）中村氏（熊本）木下氏・荒木氏（大牟田）と九州地域会長溝江氏（長崎）が集まり、初代会長を成田氏に依頼し、「九州元老」を結成し連盟に登録しました。

会員が広範囲のため4ブロック（大牟田・荒尾・玉名ブロック、筑後ブロック、福岡ブロック、事務局ブロック）に分け、各種事務・意見交換等を実施。会長を含む役員は2年サイクルで交代制を図っています。会員全員での練習はありませんが、大会参加確認や運営等で苦労しながらサッカーを楽しんでいます。

現在はV・Rを含み45名以上で各々のクラス大会に単独チームで参加しています。2000年（平成12年）に連盟ロイヤルに入会して背番号199番を拝命し、金パンツ（83歳）で地域大会に参加しています。



西日本OBサッカー連盟
50周年記念事業実行委員会

（全国O-80・O-75・O-70シニアサッカーフェスティバル実行委員会）

委員長	佐賀　昭雄	豊田ＳＦＣ
副委員長	加藤　和長	名古屋500CR
委員	公文　昌人	名古屋500CR
委員	山添　博志	刈谷アゴーズ
事務局長	羽田　恒太	名古屋500CR
副事務局長	山村　俊幸	浜松怪童クラブ

【あとがき】

50周年記念大会を開催するにあたり、先輩の方々のお陰で仲間とシニアサッカーを楽しむことが出来る環境になったことに感謝いたします。
今は人生100年時代と言われ、各大会にO-80クラスの試合も行われ、寿パンツ（90歳以上）の方が元気に参加される姿もあります。

今回50周年を機に、日頃から連盟以外の交流のあるチームO-80・O-75・O-70クラスにも声掛けをして、広く交流の場を設ける事にして計画を進めました。
その結果、連盟21チーム、声掛け17チームと多くの参加を頂き、毎年楽しみに会える大会になればと思っております。
改めて、多数のご参加を頂いたことに感謝申し上げます。

大会実行委員会委員長　佐賀 昭雄

2023年名古屋500クロウズクラブ50周年記念試合（テラスポ鶴舞）

生涯現役

親睦第一

西日本OB連盟50周年記念事業　第25回ロイヤル交流会 in 石川・金沢大会
2024年5月29日・30日　会場:金沢サッカースタジアム

全域大会 in J-GREEN堺 O-80・O-75
2022年11月8日・9日(8日：懇親会)

勝敗第二

西日本OBサッカー連盟